

「なでしこインタビュー」

大滝麻未

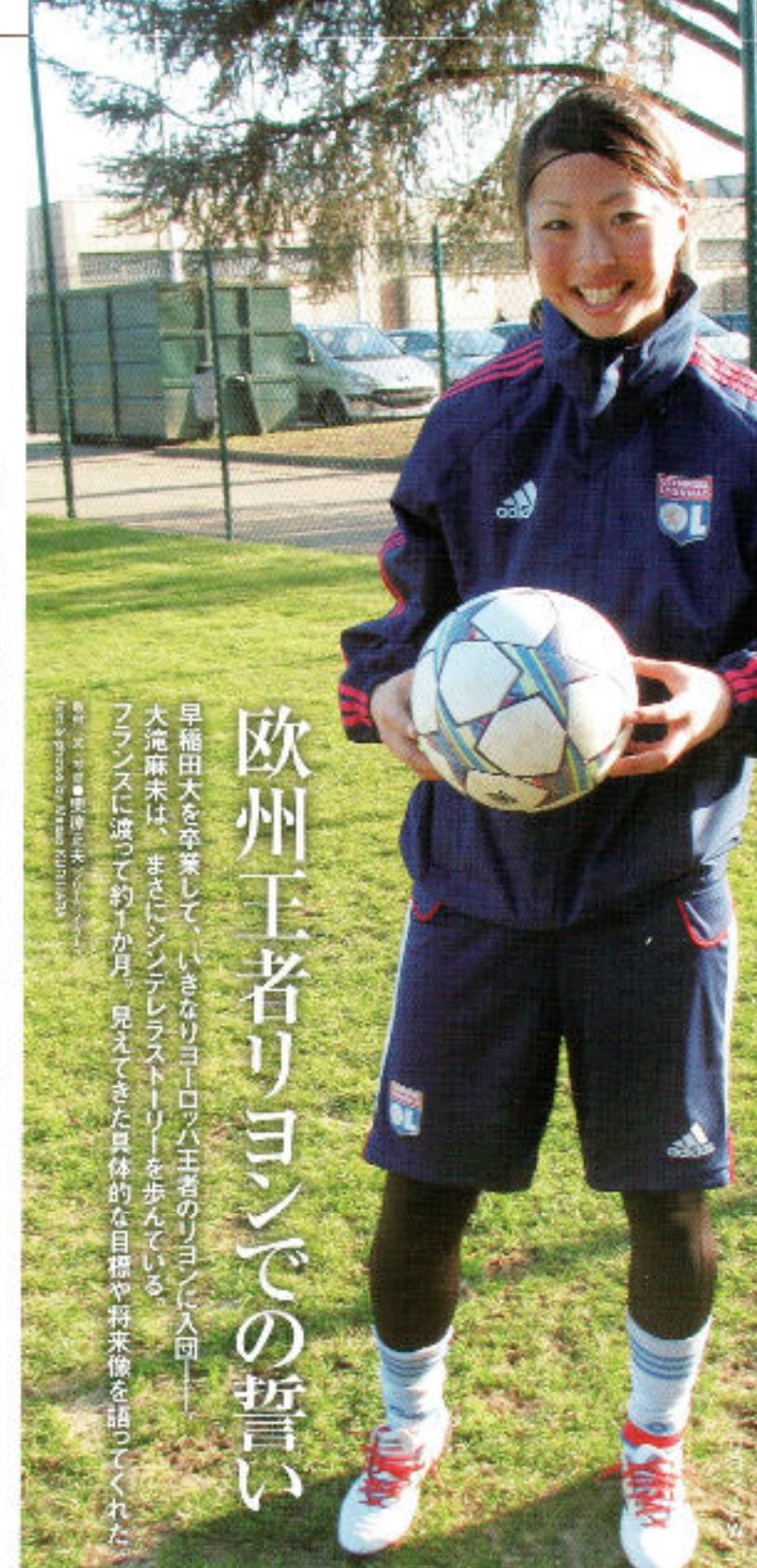


欧洲王者リヨンでの誓い

早稲田大卒業して、いきなりヨーロッパ王者のリヨンに入団

大滝麻未は、まさにシンドレラストーリーを歩んでいる。フランスに渡つて約十か月、見えてきた具体的な目標や将来像を語ってくれた

（撮影：大滝麻未）



やるならプロのほうが良いし、
ビッグクラブから誘われて、
断る理由なんてありませんよ。

まず初めに、リヨン（フランス）
に移籍された経緯について教えてく
ださい。

「海外のクラブチームに行きたいと
思っていたら、ユニーク（率1）が
きっかけでリヨンに声をかけてもら
いました。1月のトライアルを経て、
正式にオファーをいただきました。

正面、それまでリヨンの女子チーム
がヨーロッパチャンピオンとは知ら
なかつたんです」（著者・注／※1
／11年の夏季ユーバーシアード深圳
大会で、日本は決勝で中国に敗れた
が、6試合で計6ゴールを決めた大
滝は大会得点王に輝いた）

——他にオファーは？
「イングランドのチームからありま
した。でも、そこはスクール生扱い
みたいですね」

——国内のクラブからもオファーが
あつたと思いますが。
「海外挑戦が第一希望でしたので、
まずはその道を模索していました。
もしそれがダメだったら、日本でや

クラブから説かれたら断る理由なん
てありませんよね」

——ユニークではフランスと二度対
戦し、いずれもゴールを決めました。
その活躍が移籍の決め手になつたの
ですか？

「フランスのコーチは、リヨンのト
ップチームのアシスタントコーチで、
その試合のプレーを評価してくれた
ところです」と思っています。

——フランスに来て、約1か月が経
ちました。こっちの生活には慣れま
したか？

「（大学時代に）カナダへ留学した
時は寂しい思いをしましたが、今は
違いますね。とても楽しいし、自由
気ままに生活しています。チームメ
イトはみんな本当に親切で、分から
ないことは英語を話す選手に聞いて
教えてもらっています」

——大学を卒業後、いきなりヨーロ
ッパ王者のリヨンに入団することに、
リヨンには日本人のフィジカル

つてから海外に挑戦するという選択肢も考えていました

——ところで、サッカーを始めたのはいつ頃ですか？

「小1です。リッカーやつていた

兄に付いていく感じで始めました」

——ということは、最初は男子のチ

ームでプレーしていたのですか？

「高校までは男子に交じってやつ
いましたよ。中・高校時代は平日が

男子のチーム、週末は横須賀シーガ
ルズ（※2）という女子チームでア

ドレーしていました」（著者・注／※
2／横須賀シーガルズは、これまで
大野忍、矢野薫子、近賀ゆかりなど
などしごンヤバンのメンバーを

輩出している）

——その頃から地元では「サッカ
ーが上手い女の子」と評判だったの
ではないですか？

「いや、私はどちらかと言えば運営
されています。（謙虚）高校の男子サッカ
ー部で選ばれて、グンと伸びたと思

います。女子部員は私ひとりでした
が、顧問の小柴健司先生（元日本代
表MF）が丁寧に指導してくれて

代表チームに選ばれるようになつた
のも、ちょうどこの頃ですから、高
校時代は選手としての分岐点だつた

と思います」

——フランスに来て、約1か月が経
ちました。こっちの生活には慣れま
したか？

「（大学時代に）カナダへ留学した
時は寂しい思いをしましたが、今は

違いますね。とても楽しいし、自由
気ままに生活しています。チームメ
イトはみんな本当に親切で、分から
ないことは英語を話す選手に聞いて
教えてもらっています」

——リヨンには日本人のフィジカル